屋上用通気管カバー

FV−キャップ

FUNEN

FV−キャップ®

快適な屋上空間を創造します。

フネンアクロスがお届けする屋上用通気管カバー

排水立て管から通気管の先端までをフネン製品で！

特長

- ■ 施工性がよく設置が簡単
- ■ 上部が開口できメンテナンスが容易
- ■ 同製品で通気オフセットにも対応

施工性…… 継手の接着、締め込みだけで簡単に施工できます。
水勾配…… 上部固定部材のクリアランスと敷ゴムで勾配に対応します。
雨・防水…… 雨水が立上げ防水の上部にかかることはありません。
位置ズレ…… 上部固定により風で動くことはありません(風洞試験済み)。
音・風…… 風切り音は発生しません(風洞試験済み)。
耐久性…… 仕上げ塗装により耐候性があります(耐候性試験済み)。
強度…… 繊維混入モルタルでの一体成型のため強度があります(耐衝撃試験済み)。

FV-キャップ 100(75・125)

FV-キャップ Z 100

FV ベース H=100

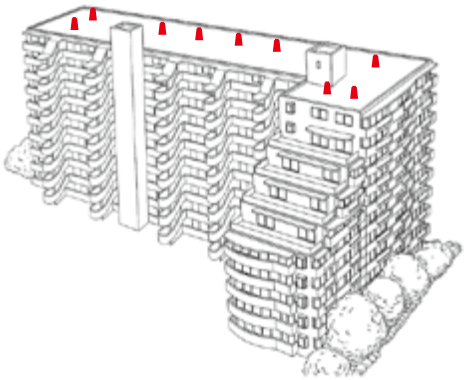
FV ベース H=200

■FV−キャップ 設置例

FV−キャップ 100（75・125）

FV−キャップ Z　100（バルコニー用）

「FV- キャップ Z」設置後は塩ビなどで通気を伸ばし従来の仕上げを行ってください。
エルボではなく DT などで接続すると上部を掃除口用途でお使いいただけます。



FV ベース H=100　H=200

屋上緑化対策などの嵩上げ台として100mmまで対応可能です。
また、FV ベース使用時は施工要領に記載している通気立上げ、立上げ防水寸法を「+110mm」長く設定してください。

FV ベース H=200 は積雪対策などの嵩上げ台としてお使いください。
設置の際は施工要領に記載している通気立上げ、立上げ防水寸法を「+210mm」長く設定してください。

■仕　様

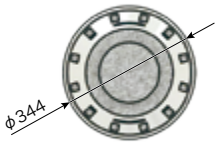
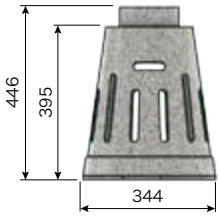
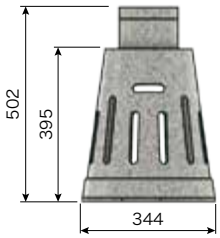
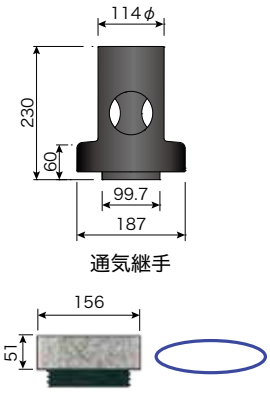
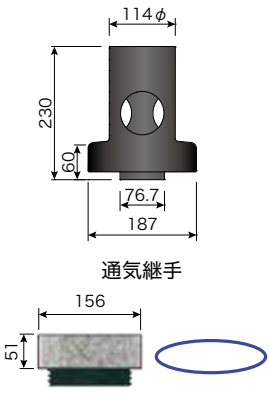
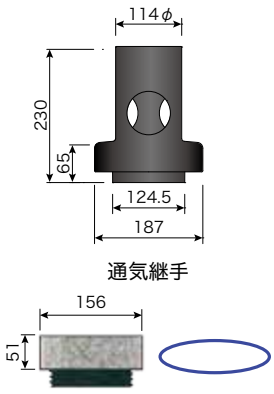
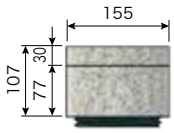
名　　称		仕 様・材 質
本　　体	本体カバー FVベース	繊維混入モルタル 仕上げ塗装：水性アクリルシリコン樹脂塗料
	敷ゴム	EPDM
取付部材	通気継手	PVC（リサイクル塩ビ）
	固定キャップ	PP、繊維混入モルタル 仕上げ塗装：水性アクリルシリコン樹脂塗料
	固定継手 （ソケット）	PP、繊維混入モルタル 仕上げ塗装：水性アクリルシリコン樹脂塗料
	パッキン	EPDM

■規格【本体カバー＋取付部材（FVベースは本体のみ）】

名　　称	品　　名
FV− キャップ 100	FV−C 100
FV− キャップ Z 100	FV−CZ 100　※
FV− キャップ 75	FV−C 75　※
FV− キャップ 125	FV−C 125　※
FVベース H=100	FVベース H=100　※
FVベース H=200	FVベース H=200　※

・「※」の記載のある規格は「受注生産品」です。予め納期をご確認のうえご発注ください。
・取付部材がご入用の際はお問合せください。

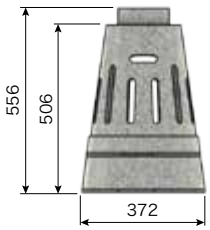
■FV−キャップ寸法・部品構成

	FV−キャップ 100（75・125）			FV-キャップ Z 100（バルコニー用）
製品寸法（重量：約9kg）	本体見下げ図（共通） 			
	 100（75・125共通）			
同梱取付部材	FV-キャップ 100  通気継手 固定キャップ パッキン	FV-キャップ 75  通気継手 固定キャップ パッキン	FV-キャップ 125  通気継手 固定キャップ パッキン	 固定継手（ソケット） パッキン2枚梱包

※通気継手には環境に配慮したリサイクル塩ビを採用しております。また、通気管に接着する部分は75用100用で60mm、125用で65mm となっているためすべて挿し込んで接着してください。

FVベースH=100

（重量：約6.6kg）



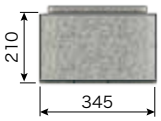
FV−キャップ 100＋FVベース
設置時寸法（重量：約15.6kg）

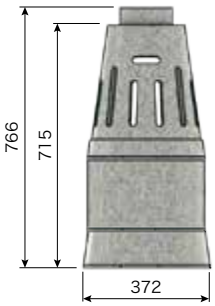
設置の際は施工要領に記載している通気立ち上げ、立ち上げ防水寸法を「+110mm」長く設定してください。

※100・75・125・Zの全製品に対応します。

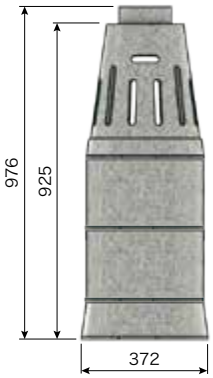
FVベースH=200

（重量：約13kg）





嵩上げ300mm対応



嵩上げ500mm対応

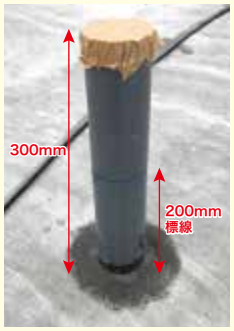
設置の際は施工要領に記載している通気立ち上げ、立ち上げ防水寸法を「+210mm」長く設定してください。

※嵩上げ300mmでは立ち上げ防水を「+320mm」500mmでは「+530mm」長く設定してください。

■施工要領 ＜FV−キャップ 100（75・125 共通）＞

※画像はシート防水を想定したものです。
アスファルト防水にもご採用いただけます。

① 通気の立上げ



・スラブ上の仕上げ面より上部に塩ビ管を300mmを目安に立ち上げてください。

・立上げ防水の目印としてスラブ上の仕上げ面より「200mm」の位置で標線などをつけてください。

例：仕上げ面厚みが40mmの場合
標線位置はスラブ面より240mm

② 立上げ防水（別途工事）

・スラブ上の仕上げ面より上部に「200mm」で立上げ防水を施してください。

・スラブ上の仕上げ面より上部に「220mm」の位置で手ノコを用いて水平に切断してください。

規定寸法より短く切断しないように注意してください。

③ 通気継手の接着

※通気管に接着する部分は75用100用で60mm、125用で65mmとなっているためすべて挿し込んで接着してください。

・通気継手を接着します。接着強度が十分に出るまで通気継手を無理に動かさないでください。

・FV- キャップ 75 や 125では専用の通気継手を接着します。

※防水処理仕上げ部分を傷つけないように注意してください。

④ 本体カバーの設置

・本体カバーの中央開口部に通気継手が入るように設置してください。

⑤ パッキンの取り付けと固定キャップの締め込み

・専用のパッキンを取り付けてください。
※通気管の中に落とさないように注意してください。

・固定キャップはオスネジになっておりますので、本体カバー上部のメスネジに合わせてしっかり絞め込んでください。
※固定されていることを確認してください。

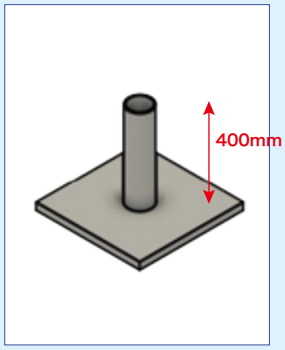
⑥ 施工完了

防水施工について

通常のアスファルト防水・シート防水において通気管への施工時の熱などの影響はVP管であれば問題ないことを確認しております（別途資料）。
また、通気塩ビ管が長い場合は安全性を考慮し屋上スラブ下（最上階天井面）付近に伸縮継手やソケットを設置することをおすすめいたします。

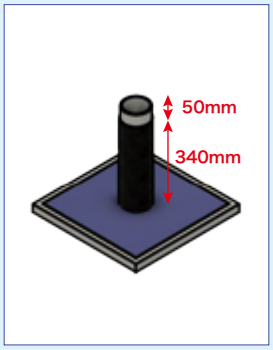
■施工要領 ＜FV−キャップ Z 100（バルコニー用）＞

① 通気の立上げ



・スラブ上の仕上げ面より上部に塩ビ管を「400mm」以上になるように立ち上げてください。

② 立上げ防水（別途工事）



・スラブ上の仕上げ面より上部「340mm」で立上げ防水を施してください。

・防水の上端より「50mm」の位置を手ノコを用いて水平に切断してください。

※FV-キャップ Z 100 の通気立上げ寸法と立上げ防水寸法は、FV-キャップ100 の寸法と異なりますのでご注意ください。

③ 通気カバーの設置

・本体カバーの中央開口部に通気の立上げ管が入るように設置してください。

④ パッキンの取り付けと固定継手の締め込み

・専用のパッキンを取り付けてください。

※通気管の中に落とさないように注意して下さい。

・固定継手（ソケット）の上部ナットを外し、内管と外管を分離してください。
ソケットの下側がネジになっているため本体カバーに合うように締め込んでください。

・固定継手（ソケット）の外管を被せてください。

・専用のパッキンを取り付けて上部ナット部分を仮締めしてください。

⑤ 通気の配管

・通気管の延長は、耐候性の塩ビ管などを固定継手（ソケット）の上流側に挿し込み上部ナットを強く締め込んでください。

※固定継手（ソケット）以降の配管部材専用品はありません。

⑥ 施工完了

・通気管の先端については従来の仕上げをおこなってください。

防水施工について

通常のアスファルト防水・シート防水において通気管への施工時の熱などの影響はVP管であれば問題ないことを確認しております（別途資料）。
また、通気塩ビ管が長い場合は安全性を考慮し屋上スラブ下（最上階天井面）付近に伸縮継手やソケットを設置することをおすすめいたします。

■屋根勾配への対応

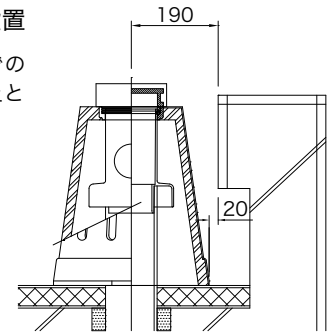
○通常製品で1/50に対応しています。

それ以上の勾配の際には勾配下流側に敷ゴムを追加することで対応できます。
（右写真は勾配 1/20 の時）

■パラペット付近への設置

○パラペット付近への設置

アゴ先からVP管の芯までの距離を原則 190mm 以上としてください。



施工・使用上の注意事項

FV- キャップを破損させたり落下させたりすると、けがをするおそれがあります。
使用上の注意を守り、正しくお使いください。

注　意

・本製品は、屋上通気管用のカバーです。ほかの用途には使用しないでください。

・本製品を使用する前に、ひび割れや破損などの有無を目視で確認してください。
万が一、ひび割れや破損などが発見された場合は、その製品は使用しないでください。

・本製品を直接土や砂利の上に置かないでください。
敷ゴムの損傷や剥がれの原因になります。

・施工時及び施工場所への移動の際、躯体壁や階段、手摺等にぶつけたり、引きずらないよう注意してください。製品の損傷の原因になります。
また、本製品を重ねることも損傷の原因になりますのでご注意ください。

・本製品の施工前に、防水工事が完了していることを確認してください。
硬化前に施工すると敷ゴムがトップコートに付着する原因となります。

・通気管と通気継手の接合には、塩ビ用接着剤を通気継手の挿入部外周と通気管の管端内面に均一に塗布し、速やかに挿入して抜け戻りのないように保持してください。
また、接着剤が垂れないように十分注意してください。
施工の際には養生シートなどの使用を推奨いたします。

・詳しくは、担当窓口までお問い合わせください。
・資料関係（試験成績書、耐候性試験報告書、防水施工についてなど）は別途お問い合わせください。
・商品改良のため、仕様・外観・価格は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
・印刷物と実物では多少色柄が異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。